

## 令和2年度 第2回練馬区立生涯学習センター運営懇談会 会議要録（概要）

- 1 日時 令和3年3月12日（金） 午後3時～4時
- 2 場所 生涯学習センター 第1教室
- 3 出席者 井藤委員、川井委員、中島委員、岡本委員、長富委員、田村委員、  
鈴木委員、住吉委員、山本委員、押田委員(社会教育主事)  
(練馬区)文化・生涯学習課長  
(事務局)生涯学習センター所長、副所長
- 4 欠席者 長田委員
- 5 傍聴者 なし
- 6 次第
  - (1) 挨拶
  - (2) 議題  
生涯学習センター大規模改修工事の延期について  
令和2年度事業結果報告について  
令和2年度施設利用状況について  
令和3年度事業計画について
  - (3) その他
- 7 配布資料
  - 資料1 令和2年度事業結果報告（令和3年1月事業終了分まで）
  - 資料2 令和2年度施設利用実績（令和3年1月事業終了分まで）
  - 資料3 利用者アンケート結果
  - 資料4 令和3年度事業計画（案）
- 8 会議の概要
  - (1) 挨拶  
稲永 陽子 文化・生涯学習課長挨拶
  - (2) 議題  
生涯学習センター大規模改修工事の延期について

<所長> 新型コロナウイルス感染症の影響による財政悪化で、区が事業見直しを行い、生涯学習センター大規模改修工事は延期となりました。すでに区報でお知らせをしているところです。延期後の工事日程が決まりましたらあらためてお知らせいたします。

<座長> 各サークル、文化団体協議会での会場として使えるのかどうか、皆さん心配されていることを聞いています。ご質問を伺います。

<委員> 生涯学習センター利用団体の皆さんの中には、ご存じでない方もいるようです。お知らせをお願いします。

<所長> ご利用の皆様への周知については、検討をいたします。

<座長> 各サークル、団体内での周知には工夫が必要とのことでした。

#### 令和2年度事業結果報告

所長から資料1に基づき説明（内容省略）

#### 令和2年度施設利用実績

所長から資料2に基づき説明（内容省略）

#### 利用者アンケート結果

所長から資料3に基づき説明（内容省略）

<座長> コロナ禍で活動したくともできない。また、大規模改修工事の日程が決まらなないと予定も立たないかと思いますが、委員の皆さんから一言づつお願いします。

<委員> 事業報告では、前年比を記載していただくと目安が付きやすいのではと思います。新型コロナで利用件数・人数の減少、事業中止はやむを得ないと思いますが、オンライン講座の計画についても考慮をお願いします。

<所長> 資料記載については、工夫をさせていただきます。公開講座では、順天堂大学実施分はオンラインで実施しました。また、縁ジョイ倶楽部講演会を本日からオンラインで開催いたします。さきほどの説明が不十分でしたので、補足いたします。

<委員> 施設利用実績の利用率では空きがあるようにも見えますが、私の団体は、な

かなか予約が取れずにいます。

<所長> 時間帯や部屋によっては複数の申込が競合することもあるようです。

<座長> 私は、空いている曜日、時間を探して、活動しています。定期的に同じ曜日、時間を確保することは難しいことがあるかもしれません。

<委員> 生涯学習センターホールで、縁ジョイ倶楽部の太鼓の講座を行いました。講座終了後、継続活動希望者が 25～6 名いましたが、太鼓の活動場所が大泉地区ということから、実際の継続者は 4 名にとどまりました。大泉地区にも太鼓ができるホールを備えた施設があればと思いました。

今後、オンライン講座を発信したい場合に生涯学習センターで機材を貸し出してもらえますか。

<課長> 貸出用の機材の用意はなく、W i F i は、ロビーのエリアのみとなっており、各教室ではご利用いただけません。新たな動きがありましたら、随時お知らせしてまいります。

<委員> 緊急事態宣言で施設の利用が夜 8 時までとなっており、夜間活動団体の利用時間が短くなり、十分な活動ができないという声を聞きます。施設によっては、まだ、W i F i 環境が全く整っていないところもあります。

<委員> コロナは抑えるところを抑えないといけないと思います。区立施設は、現在、夜 8 時までの利用制限となり、時間を集中して行うことも良いことだと感じています。緊急事態宣言が解除になっても 8 時までの利用制限は継続したほうが良いと個人的には思います。長いスタンスで見えていかないとコロナは収まらないと思います。

緊張が緩まないようにするため、個人的な考えで早めに切り上げようとしてもなかなか合意が難しいため、区の方針として施設の利用制限をしてもらったほうが、皆さんの協力を得やすいと思います。

他の区立施設も利用していますが、換気が心配で、扉を開けばなしにしたところ、音漏れで苦情がきたこともあります。

<座長> 区長が先頭になり、区としてもいろいろ取り組んでいるようです。利用者としても協力し合っていきたいものです。

<委員> 昨年は文化団体の多くの事業は中止になりました。サークル連絡会は、後半

からようやく活動を再開できそうな状況です。

<委員> サークル連絡会作品展を5月28日から30日までで行うことになりました。できる範囲でみんなで頑張っています。

<委員> 文化団体18団体中、コロナのなかで4団体が実施されたことは大変なことだと思います。今年は開催したいと頑張っているところです。ご協力をお願いします。

<座長> 他になければ、次の説明をお願いします。

令和3年度事業計画について

所長から資料4に基づき説明(内容省略)

<座長> ご質問はありますか。

<委員> 文化団体18団体中どのくらいの団体が開催されるのでしょうか。

<副所長> 基本的には開催ですが、春の区民文化祭は連盟主催ですので、コロナで練習不足のため辞退される場合もあります。

<座長> 従来どおりにはできないようです。他にはいかがでしょうか。

<委員> 舞台発表促進事業は、平日夜間枠のみが対象ですが、6か月前のホール抽選会後に空いている時間帯は、日中でも開放してはどうでしょうか。サークル連絡会の舞台発表会が中止となり、いくつかのサークルは発表会をしたいと話しています。そのような動きに使うことも一案と思っています。

<座長> 他にないようでしたら、最後に副座長からお願いします。

<副座長> この1年間を振り返りました。この災害のなか、参加者が限られデータが減少していますが、そこに現実が出ているのではと思います。施設利用者数は減少しても、利用者があまり減少していない部屋もあります。生涯学習センターの利用減少に比べて、分館の利用減少はそうでもなく、生涯学習センター大規模改修工事のアナウンスの影響もあるかもしれません。

これからを考えた場合、いままでの日常は戻ってこないだろうと思います。ホームステイやテレワークが行われたときに拠り所となるのは人と人とのコミュニケー

ションだと思います。活動ができず、人と会えない寂しさ、孤独感を感じて初めて、今まで生涯学習活動に参加したくてもできなかった人たちの気持ちを少しでも理解できるのではないかと思います。

生涯学習センター、文化活動の本質を見直す機会と捉えて、このようなときにコミュニケーションの手段が提供できれば、生涯学習センターの意味、文化活動の意味がより増してくると思います。

原点回帰ではありませんが、生涯学習センターの機能、あり方をみんなで考えていく機会と思います。意見を出し合うチャンスを作ってもらえればいいのではと思いました。

<座長> こういう時こそ、人の輪をつなぐことは大切です。手工芸のテーマは、手わざでつなごう心の輪です。一人暮らしの会員に作品の進み具合を確認するなど、コミュニケーションにほっとするという声を聞いています。美術館での創立 25 周年記念練馬区手工芸作家展で 900 名以上の方に入場いただき、こういうものが望まれているのだと感じました。いろいろなことでつながっていくのではないかと思います。

心はつながると思います。助け合いながら、声を掛け合いながら行っていけば、人生 100 年時代に生涯学習は広がっていくと思います。今後ともよろしく願います。